

工事成績評定項目別評定表（技術力の発揮）

第3号様式(第3条関係)

〔記入方法〕該当する項目の□に「1」を記入し、その具体的事由等を右欄に記入する。

	担当 監督員	主任 監督員	技術力の発揮キーワード	左記チェック項目の具体的事由等	担当評定点	係長評定点
既設構造物(既存施設) 固有の難しさへの対応			1. 既設構造物(既存施設)の補強、撤去等の特殊な工事 2. 既設設備の困難な移設、切廻し、盛替え等を伴う工事			
技術固有の 難しさへの対応			3. 工種及び工法の特異性 4. 新工法(機器類を含む。)及び新材料を適用した工事			
厳しい自然条件 地盤条件への対応			5. 湧水の発生、地下水への影響(地盤掘削時) 6. 軟弱地盤、支持地盤の状況 7. 工事用道路・作業スペース等の制約 8. 雨・雪・風・気温等の影響			
厳しい周辺環境等 社会条件への対応			9. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 10. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 11. 周辺住民等に対する騒音・振動等の配慮 12. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 13. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 14. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 15. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 16. 制約の多い、稼働中の施設における工事			
施工現場での対応等			17. 災害等での臨機の処置 18. 施工状況(条件)の変化に対応した工法等の自発的提案と対応等 19. 対象施設を利用しながらの工事における、施設運営への臨機での対応 20. 既存部分との取合いの処置等 21. 狭隘部や微小な施工部位等での困難を伴う工事での円滑な施工			
その他			22. その他( )			

- ・「基本的な技術力と成果の評価」で評価されなかった受注者の優れた技術力等を評価する。
- ・「創意工夫と熱意」との二重評価は行わない。
- ・1項目1点を目安とする。ただし、内容によっては2点とすることができる。
- ・「技術力の発揮」、「創意工夫」、社会的貢献」それぞれの評定点を合計し、その合計を最大5点とする。